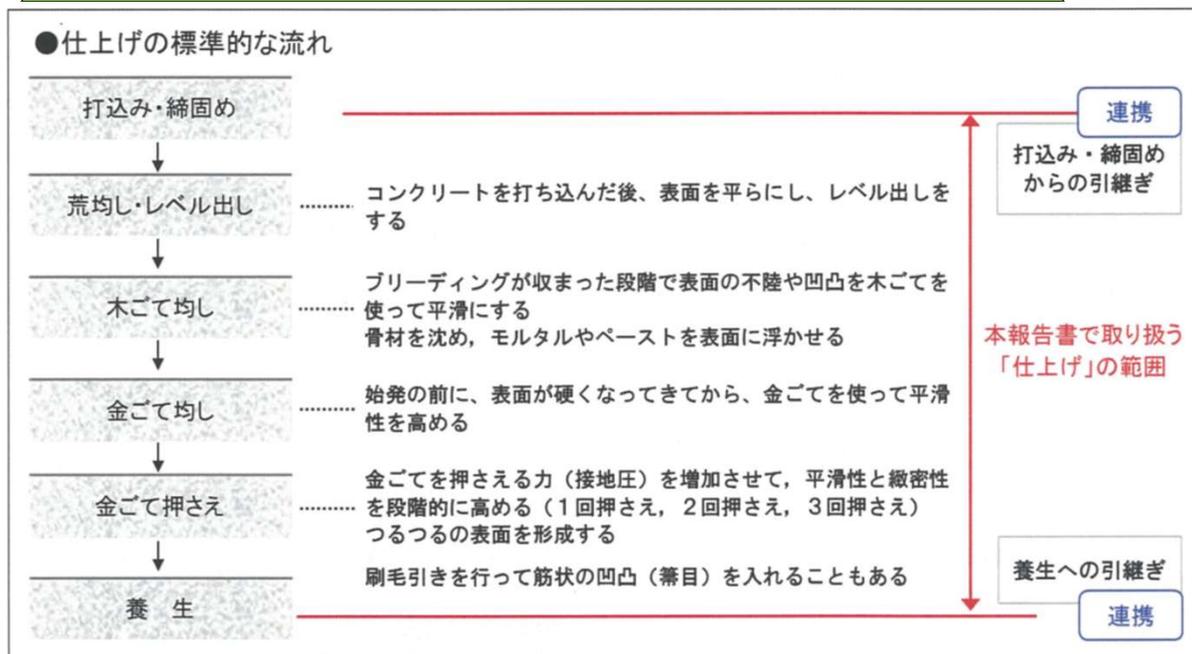


## ◆ 日本コンクリート工学会(JCI) コンクリート基本技術調査委員会 コンクリート工WG報告書

### ・仕上げの標準的な流れ



【荒均し】

【レベル出し】

【木ごて均し】

【金ごて押さえ】

図-2.1 仕上げの標準的な流れ

【ポイント9】 養生作業に速やかに引き継ぐ  
仕上げ作業に続いてコンクリート表面からの水の逸散を防止する初期養生の実施  
初期養生の方法やタイミングを適切に行う

ブリーディング水の上昇が終了した仕上げ完了後のコンクリート表面は急激に乾燥する。

初期養生作業の準備(いつ、誰が、どこで、何を、どのように準備するか)や開始の時期を判断して作業従事者に指示する

コンクリートと水は密接な関係があることは、既知のとおりであり、コンクリート製造時には単位水量として水を配合する。水セメント比(W/C)は強度特性や劣化に対する抵抗性や物質の透過に対する抵抗性に大きく寄与する。

セメントの水和反応を十分に進行させるためには水分を確保するための養生(アクアカーテン)が重要となる。

養生終了後の余剰水がコンクリート外に逸散し、空隙が形成されると乾燥収縮が生じ、ひび割れが発生する。この空隙やひび割れが外部からの物質浸透の経路となり、塩化物イオンや酸素、水などの浸透が鋼材腐食に大きく関与してくる。